

# 「大條家ゆかりの茶室」フォーラム報告

## 参加者/アンケート/プログラム/会場写真

### 参加者人数と内訳

山元町坂元	52名	計 168 名 (公表170名)
山元町坂元以外	50名	
仙台・近郊	57名	仙台市(26名)・亶理町(10名)・新地町(6名)・岩沼市・多賀城・大崎市・名取市・大河原・蔵王町・角田市・丸森町・柴田町
宮城県以外	9名	東京(7名)・山形・神奈川



### 開催概要

- 平成30年6月9日(土) 13時開場 (開始13時半)
- 坂元地域交流センター(ふるさとおもだか館)

申込: 不要(定員150名)

参加費: 1,000円(資料+飲物)

主催 山元町ふるさと歴史学習会 / ゆかりの茶室に光をあてるっちゃGO  
山元いいつ茶組

後援 山元町教育委員会 / 公益社団法人 日本建築家協会

協力(地域・五十音順):

石州清水流/一般社団法人新興事業創出機構/政宗公ワールド

新地町郷土史研究会/亶理郷土史研究会

坂元神社/下郷区/特定非営利活動法人GRA / 一般社団法人ふらっと一ぱく/特定非営利活動法人ポラリス

一般社団法人まちづくりやまもと/山元の未来への種まき会議/やまもと民話の会/特定非営利活動法人亶理山元まちおこし振興会

助成: 公益信託 大成建設自然・歴史環境基金助成事業

# アンケートまとめ(1)回答者について

アンケート数 57      回答率 約34%

- ・山元町民の回答数が多いのは当然としても、仙台など他地域参加者回答も多く、山元町以外からの関心の高さが感じられる。
- ・男女比は、ほぼ同数。
- ・年齢層は、70歳代と60歳代の回答者が各15名以上で多く、男女比同様、参加者全体プロフィールを反映していると思われる。  
20、30、40歳代が各1名ずつだが、積極的な回答を寄せている。
- ・フォーラム開催の認知は、チラシ効果が最大で、次に家族・知人からの口づてが多い。仙台からは河北新報記事も効果を発揮した。  
「広報やまもと」も町民への手堅い告知法であることが分かる。

## 内 訳

地域	山元町 30名 / 亘理 3名 / 新地 3名 / 仙台 11名 / その他 7名 (岩沼 角田 大崎 名取 川崎 東京)	計 54名 未記入 3名
性別	男性 28名 / 女性 29名	計57名
年齢	50歳未満 3名(24歳・39歳・44歳) / 50歳代 5名 / 60歳代 15名 / 70歳代 20名 / 80歳代 5名	計48名 未記入 9名
告知法	チラシ 21名 / 家族・知人 13名 / 広報やまもと 9名 / その他 8名(内、河北新報3名) / DM 4名 / ネット 3名 / ポスター 2名	* 複数回答有効

# アンケートまとめ(2)フリー記入欄分析

フォーラムの内容・運営に対して批判的、否定的な記述が一切なかった。これは、アンケートとしては珍しい。

参加者の傾向として遠慮深く、控えめであり、且つ批判的感想を持った参加者がアンケートを提出しなかったことを考慮しても。

170名の参加人数(定員超え)も合わせて、「大條家ゆかりの茶室」フォーラムは、その開催目的に対し、一定の成果を出した大盛会と判断できると思う。

## アンケート ト 総 括

- 茶室の歴史と文化財意義がよく分かった
- 保存して活用したい、大切にしたい、町の誇りである……
- 保存と活用の意味がよく分かった
- 早く復旧してほしい
- 役場に頑張って貰いたい
- 宣伝すべし

### 設定テーマとプログラムがアピールした結果と考えられる

- ・以前の勉強会内容から一步踏み込んで、具体的な修復法や活用事例を提示したこと
- ・文化財としての茶室の意義や歴史について、更なる情報を提供したこと
  - 伊達宗行先生が、自ら大條家の古文書も披露して、茶室の来歴をお話したこと 他
- ・文化財保護法改定の”保存して活用、活用して保存”について、旬で分かり易い解説があったこと

加えて、

- ・権威ある建築専門家組織である「日本建築家協会(JIA)」の“後援”及び、「文化財ドクター派遣」事業報告提示による、強い信頼性の裏付け
- ・地元町おこしに積極的活動実績を持つ団体や組織の総結集と協力
- ・運営事務局メンバーも含め、参加者、会場全体が醸し出す「茶室」への思いや熱意

### 知識を深めた・初めて知った・有意義だった

- ・知らないことがやっぱりあった。坂元に住むものとして地元の歴史は茶室にかぎらず知っておかねばと思う。
- ・様々な事が明らかになり、茶室については3回目くらいですよ、様々具体的に分かって来て理解が深まった。フォーラムに参加して良かったです。
- ・茶室の歴史や経過について、よくわかりました。 ・歴史の奥深さを知った
- ・茶室のことがよく分かった。大変なご努力をされている。どなたの話もよかった。
- ・歴史ある茶室である事を再認識 ・大條家ゆかりの茶室であることを再認識
- ・今まであまり関心がなかったが、今日の先生方のお話を聞いて歴史的建物と分かり、是非保存されることを願います。
- ・地元で生活していて分からなかった事が分かり、よかった。
- ・伊達先生、佐藤先生、其の後のパネルディスカッションで、山元町のお茶室について理解を深めることができた。(20歳代)
- ・新しく知った状況も多く、このお茶室に関わる知識の整理が出来た。今後の展開に希望を感じた。
- ・仙台藩茶道・石州流の稽古に目下取り組んでいます。山元町茶室が仙台藩茶道と深い関わりがあることを色々学べて大変有意義でした。
- ・有意義であった。御茶室物語が印象に残った。
- ・良かった。講師の方々のお話は大変興味深く拝聴しました(茶室の経緯)。伊達宗行先生のお話をもっと聞きたかった。襖の下張りに興味を持ちました。今後の解説に期待します。
- ・知ることが多くありました。古文書もこのような形で残されていること生活に密着していたことも初めて知りました。
- ・茶室があることは知っていたが、行ったことがなかった。フォーラムに参加することができて、知識が広がったので、もっと深く知り、活用できたらいいなあと思った。
- ・有意義でした。長い歴史が有る茶室だと分かった。 ・有意義でした。沢山あったので。
- ・有意義だった。大條→伊達の話。初回でも多数参加した。
- ・大変有意義でした。色々知らないことがいっぱいあり、色々な事を聞けてよかった。
- ・有意義でした。機運がさらに盛り上がりますことをお祈り申し上げます。
- ・大変有意義でした。ふすまの中の古文書より歴史をさぐれてよかったと思います。
- ・貴重なフォーラムをありがとうございました。
  
- ・有意義でした。(7件) ・良かったです。(2件)
  
- ・有意義でした。やはり地元の宝と思いました。
- ・内容の濃さに感動した。山元町を誇りに思いました。
  
- ・科学的見地からの説明、たいへん意義深いものであった。この茶室が秀吉公から政宗公が拝領したそのものであったかは、まだ理解できない。文献的にも検討を。ただし、言い伝え、伝承も重要であり史実と構造考察してほしい。 ・秀吉拝領の物とはすばらしい。
- ・秀吉から拝領した物という記録があったということがとても貴重なのですね。

- ・実際にお茶室を使っていた世代のお話は興味深かった。(20歳代)
- ・町に残る文化財を活かしたいという住民の意見が聞けた。(20歳代)
- ・茶室を利用した地元の人々の発言が印象に残った。
- ・集まった方の力が新たな活力を生み出す事ではないかと思えます。
- ・地元の人々の熱意を感じた。

- ・私達世代にとっては「秀吉ゆかりの茶室」であり、あって当たり前の馴染みの場所でした。池、庭園のつつじ、アヤメ等々憩いの茶室でした。老朽した姿に心がいたみます。
- ・映像に写したことは効果的

- ・歴史的財産が殆ど知られてないのは残念
- ・このお茶室を失ってしまったら後世の人に対して、すごくもったいないと思いました。(40歳代)
- ・県内にこのような歴史的な建造物(茶室)が残っている事は大変すばらしい。(30歳代)

- ・機会がありましたら、また参加したい。
- ・石州流は良く知らないから、一回体験してみたいです。(40歳代)
- ・茶会を含めた講演会を望みます。

### 保存・活用について

- ・「文化財は活用しながら残していく」なるほどと思いました。
- ・文化財をいかに保存・保護するか？という点で、触れずに遠巻きに眺めるという思いだったが、いかに活用して保存するか・・・目からウロコの落ちる思いです。
- ・文化財を保存することはなかなか難しいことだと思いますが、現存するものは大切にしなければならぬと思います。
- ・使いながら保存していくという今後の法律改正。すばらしい考え。
- ・佐藤憲一氏の有備館震災後再建復興した点よく理解できた。
- ・①旧姉齒家茶室～復元したものの茶室として茶室として一度も活用がない、保存のみ②旧有備館～復元にあたって極力古材を使ったこと。以上のことから、文化時の基本的な「保存と活用」を認識させられた。又今後山元町の茶室保存活用に大いなる参考になるものと思う。
- ・文化財保護の考え方が変わってきていることを知って良かった。
- ・一部の方の文化財でなく、くらしの中で生きる皆の文化財となればと思いました。
- ・有意義でした。文化財保護について印象に残った。
- ・古文書について、学ぶことができました。保存と活用がキーポイントだと思いました。
- ・活用の大切さが良く分かった。

### 運営

- ・高齢者の講師には、マイクを自分で持たなくともいいような工夫をお願いします。
- ・見事に運営されたことに関心。

# フリー記入欄紹介

これからの茶室について、ご意見・思い・提案 等々、なんでも

## 修復・保存への希望、意見

- ・早く復元を。
- ・文化のため、すぐに進めてもらいたい
- ・なるべく早く茶室を復旧してお抹茶がいただけるようお願いします。
- ・歴史的文化財を未来に引き渡す為、充実プランを整え、再建を望みます。
- ・地元の若い人も含めて、いろいろ活用策など、何でも話してみてもいい。
- ・復旧して使えるものに
- ・寄附を集めてできるだけ残せるようにしてほしい。
- ・再建を期待
- ・早く建て直していただきたい。坂元の地域おこしにつながるように。
- ・「歴史ある茶室」にもどり、有効な活用方法を出し合って、復旧が早急に進みますよう。
- ・利活用の検討をお願いしたい。
- ・伊達家での大條家の歴史をもっと光をあてる事を考えていきたい。
- ・活用。開放。
- ・復旧を切望。個々人はどのような行動、取り組みをして欲しいのか(署名、寄付・・・)。
- ・歴史勉強会、いい茶組の方からも情報提供してほしい。
- ・多くの方々の力を借りて、この茶室の謎を解いて頂ければ。
- ・早く復元されて町民の皆様に披露されますことを期待
- ・子供達を巻き込む活動は必要。子供達に地元の歴史を学ばせる機会を増やす。
- ・町の宝として大切に保存活用を
- ・しっかりとした技術で、保存・修理されることを願っています。(30歳代)
- ・お茶の文化で坂元を盛り上げましょう。伊達(仙台)⇒秀吉よりもらった茶室はたった1つ。

### 茶室の移設意見(2件)

- ・もっと人が集まる場所に移築した方が良さそう。
- ・いわれのあるこの坂元の地域より、人の集まりやすい場所に移設するのもいたしかたないのでは？

## 宣伝・PRを

- ・大々的な宣伝をするべき
- ・茶室の名をより広く知ってもらう様に広報等でアピール
- ・道の駅ができたなら町の特産物と共に歴史的なものも紹介するコーナーを作っては？
- ・坂元の茶室をPRしよう。

## 役場へ

- ・山元町の対応を見て行きたい。調査費は出ているようなので。
- ・文化財を大切に行政・町政・町民であることを願います。  
特にこの町の首長様をお願いしたい。文化財はお荷物ではなくたいせつな資源です。
- ・町の文化財であれば、もっと積極的に財政を負担し、改修すべきだが、なかなか町が積極的にならない。町民がもっともっと要請すべき。
- ・町の生涯学習課の「茶室」への取り組み方、もっと町民へにPRが必要。
- ・役場が動けば大丈夫だと思う。
- ・町の担当者がとても勉強されていて嬉しかった。あとは予算をつけて修復を。
- ・町の文化財指定のあり方の無責任に只、啞然。

## 利用・活用アイデア

- ・保存し、子供達の教育に役立ててもらいたい。
- ・少なくとも町内の小中学校での教材にして欲しい。
- ・お茶は総合文化なので、子供の頃から茶道にふれる機会の場に。「山元」は小学生でもお茶をたてると評判になる
- ・茶道(クラブや中高生の部活など)や民話の活動の場

- ・「茶室」をシンボルに「茶の湯を楽しめる町づくり」というような。人の魅力でたまれる町作りへ。
- ・「庭めぐり」を季節毎に行う
- ・歴史を伝え、長く使われていく茶室に
- ・茶会も開けるくらいに直す。水廻りなどもちゃんと作って。
- ・町民が利用する茶室
- ・坂元の観光にも役たてて、季節毎のお茶会など。
- ・野点でも。復元すること。

- ・地域のよりどころで、いこいの場に
- ・茶室だけでなく、坂元全体として町割りなど守り、広めていくべき。
- ・茶室や池や環境を整備して遊歩道のごとくしてもよい。坂元の町区全体を散歩道に。
- ・修復後は、それを中心とした祭やイベントの会場として。「茶」以外でも「場所」としての活用によって200年～300年と町の文化財として残っていく。(20歳代)
- ・城内でもあり、とてもまれな立地。整備をすれば地域のアイデンティティーを高めるだけでなく、観光資源としても有効

- ・坂元だけとか、山元町だけというより、他の地域ともうまくつなげていくといい(40歳代)
- ・交流人口拡大のためにも、広域な活用を
- ・交流人口を増やすために活用

# 当日プログラム

## おうえで 「大條家ゆかりの茶室」フォーラム

日時 2018年6月9日(土)13:30 場所 坂元地域交流センター(ふるさとおもたか館)

主催 山元町ふるさと歴史学習会 / ゆかりの茶室に光をあてるちやGO山元いっ茶組

後援 山元町教育委員会 / 公益社団法人 日本建築家協会(JIA)

### プログラム

開会 13:30

開会あいさつ 早坂文明氏 (山元いっ茶組発起人・大條家菩提寺「徳本寺」住職)  
祝辞 菊池卓郎氏 (山元町教育委員会教育長)

### 第Ⅰ部 大條家茶室の復旧・保存祈念講演

1. 御茶室物語 伊達宗行氏 (大條家20世 山台藩士会会長)
2. 大條家ゆかりの茶室について 佐藤憲一氏 (仙台市博物館元館長)

— 休憩(10分) —

### 第Ⅱ部 ~お殿様のお茶室だっちゃ この先どうすっぺ~ 15:00頃

トークセッション/ディスカッション

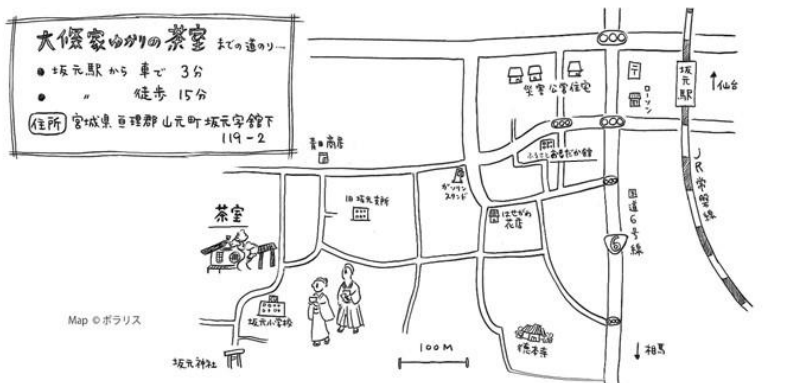
- コーディネーター 永井康雄氏 (山形大学 教授(建築史))  
日下次郎氏 (山元町ふるさと歴史学習会)  
阿部結悟氏 (一般社団法人ふらっとーまく代表理事)  
氏家清一氏 (日本建築家協会(JIA)保存再生会議副議長・JIA文化財修復塾委員)  
山田隆博氏・瀧本正志氏 トークのみ (山元町生涯学習課)
- ・会場 質疑/ディスカッション

閉会 16:30頃

閉会あいさつ 増澤淳郎氏 (山元町ふるさと歴史学習会会長)

### 協力(地域・五十音順):

石川青水流 / 一般社団法人新興事業創出機構/数宗公ワールド  
新地町郷土史研究会/亘理郷土史研究会/坂元神社/下郷区/特定非営利活動法人GRA / 一般社団法人ふらっとーまく/特定非営利活動法人ボリス  
一般社団法人まちづくりやまと/山元の未来への種まき会議/やまと民話の会/特定非営利活動法人亘理山元まちおこし振興会  
助成:公益信託 大成建設自然・歴史環境基金助成事業



# 会場写真

